

**町民との協働によるまちづくりを推進するため  
町民参画の「基本的なシステムづくり」に取り組みます****協働型社会の実現へ**

今後の酒々井町を想い、町民にとって望ましいまちづくりを展開していくためには、町民と町とが情報を共有して「協働型社会」を構築していくことが最も効果的な手段であり、町政運営の要としていくことが重要と考えています。

少子高齢化が進む一方、これまで築かれてきた「地域の方々が支えあう絆」、いわゆる「地域力」が低下し、また厳しい財政状況とも重なり、行政主導によるこれまでのシステムでは複雑多様化する地域の課題や町民ニーズに的確かつ迅速に応えていくことが困難になってきています。



これまで、政策アドバイザー制度の創設や各種まちづくり会議の開催、わかりやすい行政資料の作成・公表に努めてきました。

また、各方面で町民自らが主体的に取り組むまちづくり活動が活発に展開されており、今後、それらを支援していく環境整備に努めているところです。

そこで、まちづくりに対する町民の関心をさらに高め、町民との協働によるまちづくりを確固たるものとして推進していくため、真の町民参画を実現し住民自治の確立を図るため必要となる情報の共有と相互理解及び町の政策形成過程におけるパートナーシップに基づく町民参画の基本的システムづくりに取り組んでいきます。

首都圏  
最大級

# パークゴルフ場がオープン！

11月1日

## しすいの森パークゴルフ場

酒々井町墨地先(酒々井パーキング隣)に雪印種苗(株)が建設を進めていたパークゴルフ場が11月1日にオープンします。  
(完成記念式典10月31日)

施設の概要は、敷地面積4.6ヘクタール、ホール数36、クラブハウス、駐車場(136台)からなり、場内では千葉県と共同開発した芝生も展示されます。

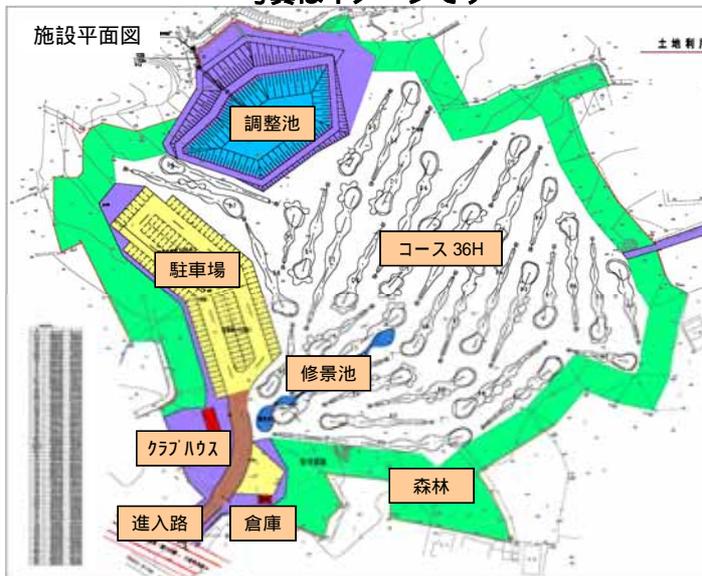
コースは、首都圏最大級を誇り、一年を通じて緑の芝生を提供、首都圏からのアクセスの良さを活かし広域集客を見込んでいます。



写真はイメージです



〒285-0913 千葉県印旛郡酒々井町墨地1200番地



パークゴルフの愛好者は100万人で増加傾向であることから生涯スポーツの普及進行と地域活性化、地域農家と連携した「地産地消」(「千産千消」)の推進を目指し進められてきたものです。



## 報告3 酒々井ちびっこ天国プール事業の運営について

# 今夏の来園者 65,818人

天候不順により 昨年度比 11,292人減

酒々井ちびっこ天国は、2年目の指定管理者制度による施設の管理運営が実施されていますが、本年度のプール事業の実績をご報告します。

プール事業の運営期間は、7月19日から8月31日までの44日間で、うち天候不順による休園が7日、途中休園が3日あり、開園日は37日でした。

開園当初は天候にも恵まれ大勢の来園者で賑わいましたが、8月中旬からの雷雨等の悪天候により、本年度は65,818人となり、昨年度を11,292人下回るという結果となりました。



開園期間中には、来園者の増加を促進するため指定管理者による独自事業として、「じゃんけん大会」や監視員による「レスキューデモンストレーション」のイベントなどを開催するとともに、通年型健康づくり施設「健康ひろば」のチラシの配布や入園者へ見学会などPRを行いました。

## 酒々井小体育館 平成 21年度建設へ

「安全・安心の町づくりの実現」のために最優先の取り組みとして、酒々井小学校屋内運動場(体育館)の改築について報告します。

### 建設位置を変更 現在の位置に建設

酒々井小学校屋内運動場の改築工事については、設計業務を7月に千葉市の株式会社千都建築設計事務所と契約し、現在、設計を進めています。

建設位置については、昨年12月定例議会において、グランド側に建設をするという報告をしたところですが、日影規制や正門との位置関係などを併せて検討した結果、酒々井小学校や「体育館建設環境共生委員会」から出ていた「管理棟から見通せる位置が望ましい」という学校安全面での意見にも配慮し、現在の屋内運動場の位置に建設が可能であることから、建設位置を現在の位置に変更して改築を行うこととしました。

### 今年度中に取り壊し 来年度建設へ

現在の屋内運動場は改築終了後の平成22年に取り壊す計画でしたが、改築工事のスケジュールを変更し、今年度中に取り壊しを行うこととし、来年度に新しい屋内運動場を建設することにしたいと考えています。

今後とも学校施設の耐震化の促進に努めていきます。

#### 学校施設の耐震化率 (Is値0.7以上)

全 国	62.3%
県	57.4%
酒々井町	54.5%

耐震指標Is値(Seismic Index of Structure: 構造耐震指標)  
構造体の耐震性能を表す指標で、この値が大きいくほど耐震性が高くなります。なお、学校施設についてはIs値0.7以上の耐震性能を目標としています。

## 子育て支援体制の充実

乳幼児医療費助成

平成20年12月1日から

4歳未満

➡ 小学校就学前まで拡充

千葉県では、乳幼児医療費助成事業について、平成20年12月1日を施行時期として、通院にかかる助成対象が4歳未満から小学校就学前まで拡充されることになりました。拡充にあたっては医療機関に支払う自己負担金を従来の1回200円から300円に増額するとともに、児童手当法に基づいた所得制限を新たに導入する制度改正が行われることとなりました。

保護者の経済的負担の軽減を図るため

**酒々井町の独自施策として  
所得制限は導入しません  
自己負担は従来どおり1回200円**

一方、当町においては、平成20年12月1日を施行時期として入院・通院ともに助成対象を小学校就学前までに拡充します。

なお、保護者の経済的負担の軽減を少しでも図るために、所得制限は導入せず、また、医療機関に支払う自己負担金も従来どおりの1回200円として、子育て支援体制の充実を図ります。

なお、このための費用は12月から3月までの4ヶ月で6,143千円必要となるため、今回補正を行うものです。

酒々井小

## 放課後児童クラブ10月開設へ

大室台小と同様に公設民営で

児童クラブ室 - 8月に改修工事を実施 -

酒々井小学校の放課後児童クラブについては、本年10月開設を目途に現在開設準備を進めているところです。

施設につきましては、1階の被服室を家庭的な機能を備えた児童クラブ室に改修するため、児童の夏季休業中に改修工事を行いました。

運営については、8月1日から11日までの間、法人・その他団体等を対象とした児童クラブの運営主体を公募しましたが、応募がなかったため、今後は保護者及び酒々井小PTA等の協力者による運営委員会を設立し運営していきます。

入所希望児童数22名

指導員登録は9名

現在、入所希望児童数は22名で、指導員は保育士・小学校教諭等の有資格者5名を含む9名が登録されています。

今後とも、支援が必要な児童のため、遊びや学習、生活の場を提供するなど、児童の健全育成を図っていきます。

国史跡指定10周年

## 本佐倉城跡 記念イベント

10月 5日(日) 講演会

10月26日(日) 史跡ウォーキング

本佐倉城跡は平成10年9月11日に国史跡として指定され、本年10周年を迎えることから国史跡本佐倉城跡の周知・普及事業の一環として「発掘された本佐倉城跡をテーマとする記念事業を佐倉市と共催で行います。

## 『蘇る本佐倉城』をテーマに講演会

10月5日(日)に行う講演会では、調査担当者による発掘成果の紹介と、それに対し国立歴史民族博物館副館長の小野正敏先生から関東近隣の中世城郭の発掘調査例、整備例との比較を通して講評をいただくとともに、「蘇る本佐倉城」をテーマにご講演いただきます。

本佐倉城跡からの発掘物を展示します

史跡ウォーキング  
本佐倉城跡及び周辺史跡・社寺を見学

10月26日(日)には、本佐倉城跡及び佐倉市を含む周辺関連史跡・社寺等を見学する「史跡ウォーキング」を、ボランティアガイドをはじめとして、各種団体やボランティア団体とタイアップして行い、町内外から500人規模の参加を考えています。歩行形態は自由歩行とし、「見る・ふれる」に重点を置き、昨年設置した酒々井観光ナビの活用に加え、主な史跡等では史跡ガイドによる解説をおこないます。

朝市まつりと同時開催

昨年好評の「おもてなし酒々井」の開催

など取り入れ盛り上げていきます

- 各種団体の協力で開催 -

運営協力団体:交通安全協会、朝市組合など  
後援団体:ライオンズクラブ、商工会など